

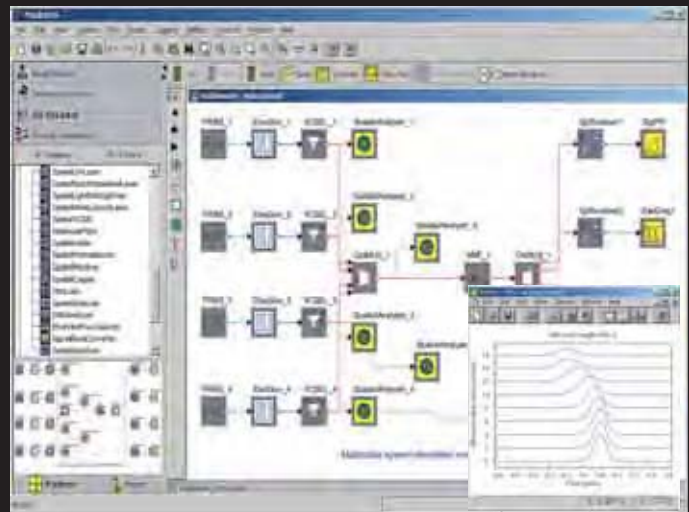
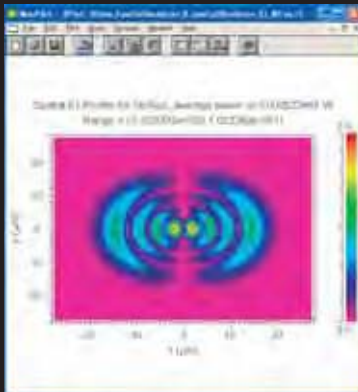
RSOFT
Design Group



FULL SPECTRUM PHOTONIC
AND NETWORK DESIGN AUTOMATION

ModeSYS

MULTIMODE
SIMULATION PLATFORM



日本アールソフトデザイングループ株式会社

ModeSYS™

マルチモードシミュレーションプラットフォーム

ModeSYS は、マルチモード伝送システムの設計、解析、シミュレーションを目的として開発された製品です。データ通信アプリケーションでは、ModeSYSによって、光信号の伝搬における時間的および空間的影響の両方を評価することが可能になります。この機能によって、個別のデータ通信プラットフォームの研究開発と同様に、1Gbや10Gbのイーサネット、ファイバー・チャンネル、FTTxなど、Multi-Service Operator (MSO)アプリケーションのための高速データ・リンクに関する標準化された通信技術のシステム・レベルでの解析を可能にします。

ModeSYSに含まれる空間的解析用のモデルにより、光信号の生成から始まり、マルチモード・リンク上にある各空間伝播用のコンポーネントを通して、フォト・レシーバでの検出に至るまでの、断面の電磁気的な空間領域についての正確な解析を可能にしています。ModeSYSは、デバイス・レベルのモデリング機能をシステム・レベル・シミュレーションの中に取り込んでいるので、簡単なシステム・レベル解析の手法を使って、詳細な空間的領域の解析が可能です。

また、ModeSYSを用いることによって、マルチモード・システムを解析するために必要とされる複雑な光学や物理学に習熟することなく、システムの解析が可能となり、スペシャリスト専用のインハウス・ツールの必要性は大幅に減少します。ModeSYSは、マルチモード伝送システム設計のために、先進的機能を提供できる世界初の商用ツールです。

製品概要

- 断面の出力特性をモデル化したマルチモード・レーザ
- 空間的に独立したモデル間の断面方向および回転によるオフセットの影響を解析し、且つ自由空間のビーム伝搬をモデル化した空間伝播用カブラ
- レーザとファイバの結合解析と同様な解析を可能にするレンズ・モデル
- 各モードの伝搬定数とモードの空間的变化を正確にモデル化できるマルチモード・ファイバ
- 時間信号に任意の空間的フィールドを追加するフィールド加算器モデル
- モード帯域幅の解析を可能にするEncircled Flux解析ツール
- 空間的領域での汎用計算を可能にし、フィールド・プロットを生成する空間解析ブロック
- 使い易い階層構造のトポロジ設計環境
- パラメータ・スイープと統計的なシミュレーションを共にサポート
- 信号発生器、レーザ、LED、変調器、フィルタ、MUX/DEMUX、受信機、BERテスターなどを含む多種多様なモデルをサポート
- インタラクティブな信号解析ツール
- BeamPROP™へのインターフェイス
- OptSim™と統合化が可能
- MATLAB®とのインターフェイス

会社概要

RSoft Design Group, Inc.(本社 アメリカ、NY州)は、1990年に設立されたRSoft社を母体として、ネットワーク系のソフトウェア会社のNetwork Design Tools, Inc.と合併して2002年に設立されました。

RSoft Design Group, Inc.は、通信やフォトニクスの産業に対して設計やビジネス分析を行うための包括的なソフトウェア・ソリューションを提案しています。部品からネットワークに至る全ての階層で、シミュレーションとプランニングを行うソフトウェアやサービスを幅広く提供しています。

Physical-Layer Divisionは、現在はオプトエレクトロニクス分野のソフトウェアのフィールドにおいて、パイオニアとしての地位を確立し、さらにこの分野のデザインとシミュレーションのための先進的なツールをタイムリーに提供すべく活動しています。

●その他の社名、及び商品名は各社の商標です。

●このカタログの内容は予告無く変更されることがあります。最新情報、詳細は下記までお問合せください。

RSOFT
Design Group

日本アールソフトデザイングループ株式会社
東京都港区芝1丁目9番6号 マツラビル2F 〒105-0014

TEL 03-5484-6670 FAX 03-5484-2288

ホームページ <http://www.rsftdesign.co.jp>
E-mail info@rsftdesign.co.jp

●記載内容は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

04年7月